

今月の目標：ハウス 夏季の収穫のため整枝とかん水をしましょう！
露地 活着を促し樹作りに務めましょう！

(1) 昨年の振り返り（とくに露地）

7月10日以降の高温により、果実肥大がとまった。翌週収穫できそうな実が、再来週にようやく収穫できるなど。

肥大がとまったことにより、株に実がたまった結果、着果負担による株の老化が始まった。

8月の早い段階から、赤果の発生や斑点病の蔓延による葉落ちが発生した。赤果の発生や斑点病の蔓延がおきた原因は、7月中旬の着果負担によるもの。

本年も同じ気象条件であれば、同じような経過をたどる事が考えられる。

↓参考：今後1か月の天気予報（気温が高く・晴れの日が多い見込みです）

東北地方 1か月予報 (05/18~06/17)		
2024年05月16日14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 05/18~06/17	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

(2) 露地作型の高温・高日照への事前準備

定植～初出荷までの約1か月間で株づくりをしっかりと行う為に、

①株がしおれないように、定植して10日間は手かん水、以降はかん水チューブでかん水。 別紙参照

②まずは株を作る為に1、2番花の除去を行いましょう。

露地では対策が限られることから、上記の対策を確実にいきましょう。

特にも生育初期は、肥料の量よりも、株へのしっかりとしたかん水や摘花を実施するほうが、生育を早める効果が高いです。

(3) ハウス作型の高温・高日照への事前準備

①ピーマンに必要な量のかん水

別紙参照

②遮光資材（ファインシェード・涼感ホワイト）は5月下旬以降に使用 しましょう

③遮熱資材（レディヒート）は6月下旬以降にハウス上面に噴霧しまし ょう。

遮光剤の使用状況

簡単にできる吹き付け作業



吹き付け作業後のハウス



誠和アグリカルチャ公式 YouTube チャンネルにて
塗布剤の使い方について紹介しております。右記 QR コー
ドよりご覧ください。

1) アキレス株式会社 HP 製品情報より。

<https://www.achilles.jp/product/agriculture/horticulture/fine-shade/>

2) 株式会社誠和アグリカルチャ HP レディヒート製品紹介より。

<https://pentakeep.seiwa-ltd.jp/products/reduheat/>



(4) 病害虫対策

昨年度下記の病害虫が多発した方は、今後予防を行いましょう。

うどんこ病：6月下旬をめぐりにパンチョ顆粒水和剤を使用しましよう。

CMV：アブラムシによるもの。ネオニコチノイド系以外の農薬の定期
散布を。本年は特にアブラムシの発生が多くなっています。

トロケ：7月上旬以降、フェニックス顆粒水和剤によりタバコガ防除を
行いましよう。気温が高い年度は発生数も多くなる傾向にありま
す。また、10日間隔でカスミンボルドーやスターナ水和剤など
を散布し予防に努めましよう。

ピーマン出荷規格の確認について

1. 標準出荷規格

出荷できるもの	出荷できないもの
<ul style="list-style-type: none">① 品質良好なもの。② 傷果 4 cm まで、かつ 1 か所まで。③ 灰色かび病斑 5 mm まで、かつ 2 か所まで。④ 果実重量は 25 g 以上とする。⑤ 黒変果の程度は、軽微で果実の 10% 未満のもの。	<ul style="list-style-type: none">① 病害・虫害・障害のあるもの 例：尻腐果・赤果（黒ずみ含）・トロケ・タバコガ食害等。② 傷果 4.1 cm 以上、または 2 か所以上。③ 灰色かび病斑 5.1 mm 以上、または 3 か所以上。④ 果実重量が 24 g 以下のもの。⑤ 雨や泥がついているもの。⑥ 軸が根元からとれているもの。⑦ 葉斑がついているもの。

2. 収穫の留意点

- (1) 朝・夕の涼しい時に収穫し、汚れはふき取る。（特に薬剤散布後）
- (2) 雨天の収穫はしない。但し、やむを得ず収穫する場合は、風乾を徹底する。
- (3) 軸は肩の高さに合わせる。
- (4) 出荷日を必ず確認してから収穫作業を行う。

3. 出荷の留意点

- (1) 集荷場搬入時に、全てのコンテナに個票を貼り、荷下しする。
- (2) 選果結果票は次回出荷の時に持ち帰る。
- (3) つぶれ防止のため、コンテナには八分目入れとする。
- (4) 雨天の出荷時には、必ずぬれ防止の対策を行う。
- (5) 荷下ろしを終了した車は速やかにピット前を移動する。その際、交通安全には充分配慮する。（毎年、ピット前で事故が数件発生している。）
- (6) 受付時間の設定は、その日の入荷量をいち早く把握し、有利販売につなげるための最低条件なので、搬入時間を厳守する。
- (7) 規格に満たない場合、指導員により再注意されても改善が見られない場合は全量返品、改善まで出荷停止とする。
- (8) 胆沢の選果場に出荷する際は、東側（資材センター側）から選果場に入り、公道への車列はしない。

ピーマンは食品であり商品です。消費者が喜ぶ商品を届けましょう。